

飯田国道事務所の事業概要について

国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所長 中川 哲也



飯高道路 3号橋 PC 上部工事

■はじめに

飯田国道事務所は、長野県南部において、国道 19 号、国道 153 号、国道 474 号三遠南信自動車道の整備・管理を担当しています。

当地域は、リニア中央新幹線の長野県駅が飯田市に設置予定であることから、その整備効果を地域全体に波及させるため、飯田国道事務所、長野県、周辺市町村が連携し、地域間・地域内の道路ネットワーク整備を進めているところ です。

また、過去より三六災害をはじめとする、大雨による多くの災害が発生していることから、大規模災害時にも、幹線道路としての機能を果たし、地域

の安全・安心を確保していけるよう、防災対策事業、道路施設のメンテナンス事業等も進めています。

■三遠南信自動車道

三遠南信自動車道は、長野県飯田市から静岡県浜松市を結ぶ延長約 100km の高規格道路で、中央自動車道、新東名高速道路と連絡し、奥三河、遠州、南信州地域の連携強化、発展に大きく寄与する重要な路線です。

飯田国道事務所では、三遠南信自動車道のうち飯喬道路および青崩峠道路の事業を担当しています。

飯喬道路は、飯田山本 IC から飯田上久堅・喬木富田 IC までが開通しており、現在は、飯田上久堅・喬木富田

IC から喬木 IC までの 7.5 km 区間を整備しています。

整備中区間は山間部で、区間の半分以上となる約 5 km がトンネルと橋梁で構成されており、限られた工事用道路上で幅狭する工事を緊密に調整しながら、鋭意施工中です。

青崩峠道路は、延長 5.9 km のうち大半の約 5 km がトンネルです。青崩峠トンネル（仮称）は、中央構造線と並行し、脆弱で複雑な地質と最大土被り 600m を超えるトンネルであり、土被り 500m を超えた貫通点の前後では、超高強度吹付コンクリートによる二重支保工を採用し、脆弱な地質と大土被りという困難を極めた区間の



飯高道路 6号トンネル坑口と牛首沢工事用道路

掘削を終え、2023年5月26日に貫通しました。現在は、覆工コンクリート、中央排水工事が完了し、監査路等の工事を施工しています。今後は、トンネル設備、舗装工事などの施工を予定しています。

■国道19号

国道19号は、名古屋市と長野市を結ぶ幹線道路であり、物流の円滑化を図るための重要物流道路に指定されるとともに、第一次緊急輸送路に指定されています。

木祖村藪原地区の雨量通行規制区間では、落石など道路災害の危険要因がある区間をトンネルで迂回するバイパス事業として、藪原改良が事業中であり、トンネル工事に向けた準備工事を施工しています。

■国道153号

国道153号では、直轄権限代行で進めている伊駒アルプスロード及び2023年に新たに着手した飯田南バイパスが事業中です。

伊駒アルプスロードは、全線開通済みの伊南バイパスと長野県が整備を進めている伊那バイパスを連絡して現道の渋滞緩和や中央自動車道が通行止めになった際の代替路として期

待されています。

飯田南バイパスは、飯田IC周辺の混雑緩和と現道区間の安全性向上ならびにリニア中央新幹線長野県駅を中心とした道路網のアクセス強化を目的に整備を進めています。

■道路管理

管理区間においては、防災対策事業、橋梁・トンネル等のメンテナンス事業を継続的に進めており、国道153号萱の橋では損傷の著しい床版をPC床版に更新する工事を実施しました。また、道路巡回や除草作業、雪氷対策な

ど日常の維持作業を実施し、安全・安心な道路を確保するとともに、大雨、大雪等の異常時には他の道路管理者と連携し、道路交通の確保に努めております。

■おわりに

今後とも地域発展の一助となる未来に資する道路整備を進めるとともに、災害時・平常時を問わず、管内地域及び利用者の皆様が安全・安心に通行できる道路管理に努めて参ります。



青崩峠トンネル（仮称）本体工完成（令和7年3月2日）